

8月19日

テーマ：「義のために迫害されている者は幸いです」

聖書箇所：マタイの福音書5章10節～12節

◆今日のみことば

義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。

マタイの福音書5章10節

◆メッセージ

「義のために迫害されている者は幸いです」え～、どうして迫害されるのが幸いだろうか、と疑問を持つ人が多いでしょう。それは、迫害されることは周りから嫌われることであり、仲間はずれにされる辛いことだからです。もし自分の身の回りに迫害が起こるならば、迫害してくる人の考えに合わせるか、その迫害する人から遠ざかるのが賢い判断のように思いませんか。つらい思いは避けたいからです。でも、何のためにつらい思いをするかということがポイントです。

主イエスさまが言われた「義」というのは、続く11節の説明からもわかるように、「主イエスさま」のことを指しています。つまり主イエスさまを信じるゆえに受ける迫害のことを教えているのです。新約聖書の歴史を見ると、ステパノさんをはじめ、多くのキリスト者が主イエスさまを信じるゆえに、迫害を受けてきました。財産を奪われたり、むちで打たれたり、故郷から追い出されたり、拳句の果てにはいのちまで奪われることも少なくありませんでした（使徒8：1、第2コリント11：23-28）。



なぜ主イエスさまのために、このような厳しい迫害を受けることが幸いになるのでしょうか。それは、迫害を受けることによって私たちの主イエスさまに対する信仰が試され、さらに迫害を耐え忍ぶうちに、忍耐力が生じるからです。信仰者たちはこの忍耐力によって成長し、何一つ欠けたところのない完全な者となるわけです。つまりキリストに倣い、キリストのようになるのです（ヤコブ1：2-4）。

私たちがキリストのようになるとは、ことばでは言い表せないほど幸いなことです。それは「キリストのように生きる」と理解しても良いでしょう。その人は天の御国で味わう恵みを、この現実（地上）で味わうことになるでしょう。それゆえ、多くの預言者と主イエスさまの弟子たちは迫害を恐れず、むしろ喜んで受け入れ、歩んだのです。私たちも「義のために迫害される」ことを喜んで受け入れたいですね。

◆お祈り

「神の聖霊よ。迫害の道であっても義なる主イエスさまと共に耐えられる復活の信仰で満たしてください。」

（招待キリスト教会牧師 趙 南洙）